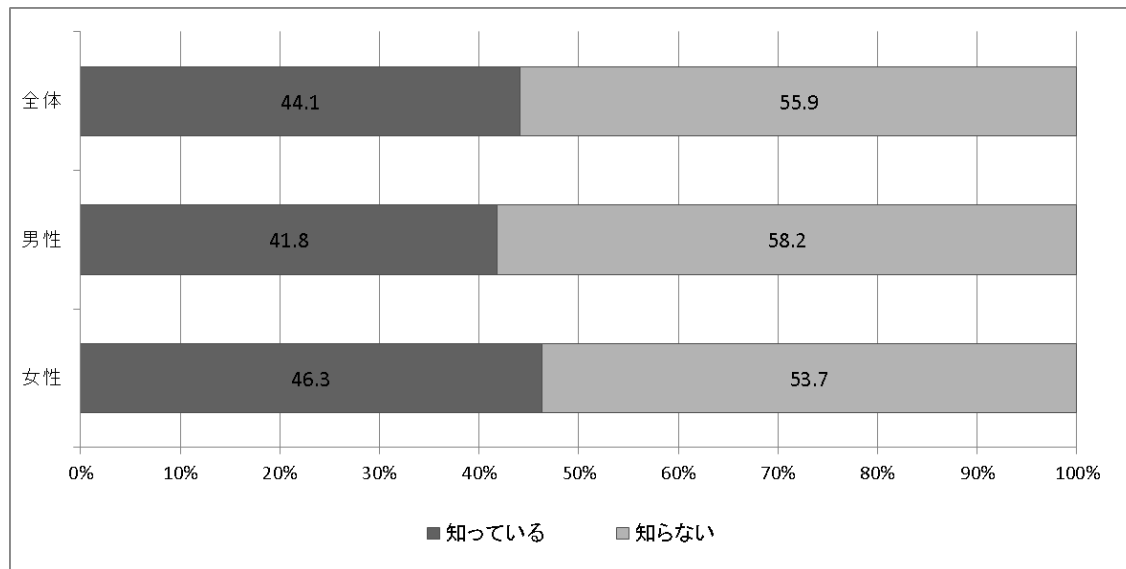


#### IV DVの子どもへの影響

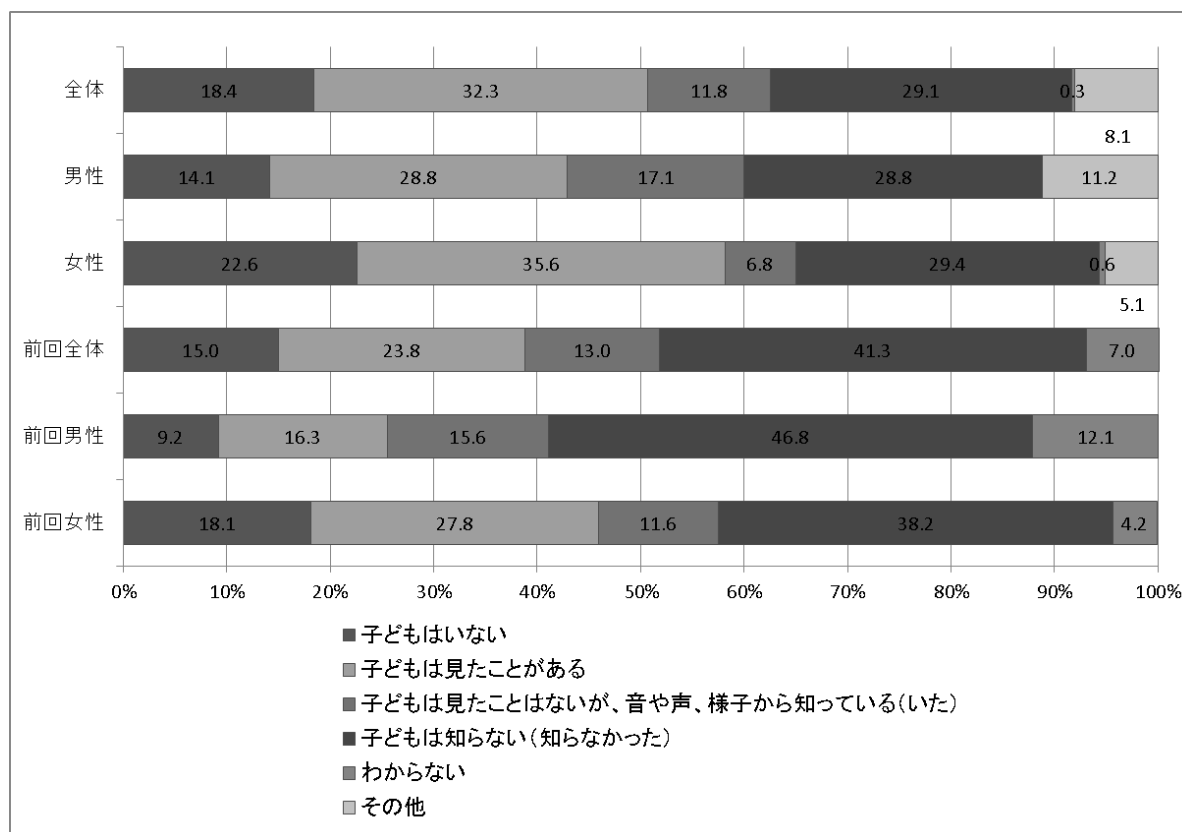
##### 【子どもがDVを見聞きしたことがあるか】

子どもの前での暴力等（夫婦げんか等）が児童虐待に当たることを知っている認識は半分以下であった。また、DVが発生しており、子どもがいる場合に、子どもの認知度については、「子どもは見たことがある」が39.6%で最も高く、子どもがDVを認知している（「見たことがある」と「見たことはないが、音や声、様子から知っていた（知っている）」の合計）は54.1%となっている。前回調査で子どもがDVを認知しているのは43.2%で、今回は10.9ポイント高くなっている。

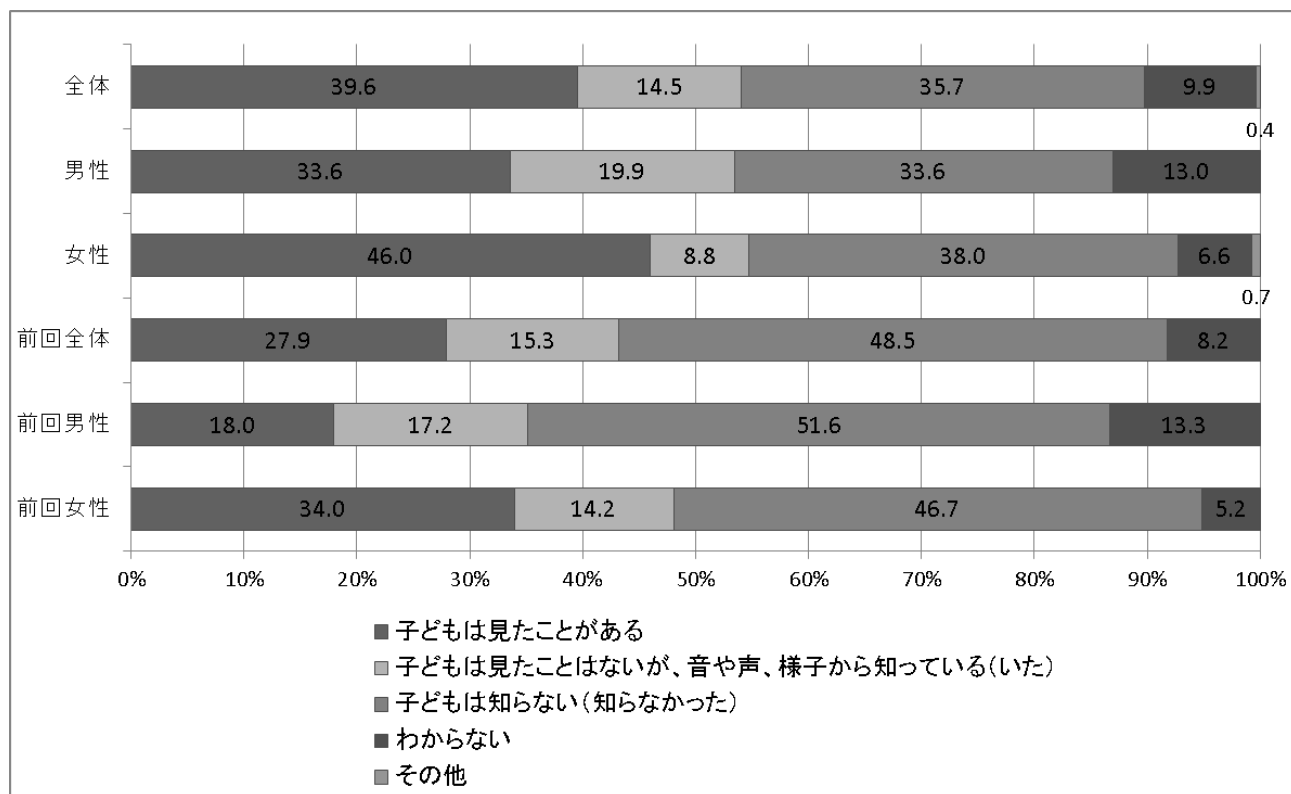
（問）子どもの前での暴力等（夫婦げんか等）が児童虐待に当たることを知っていますか。



（問）あなたのお子さんは、そのような行為を受けたのを見たことがありますか。または、知っていますか。



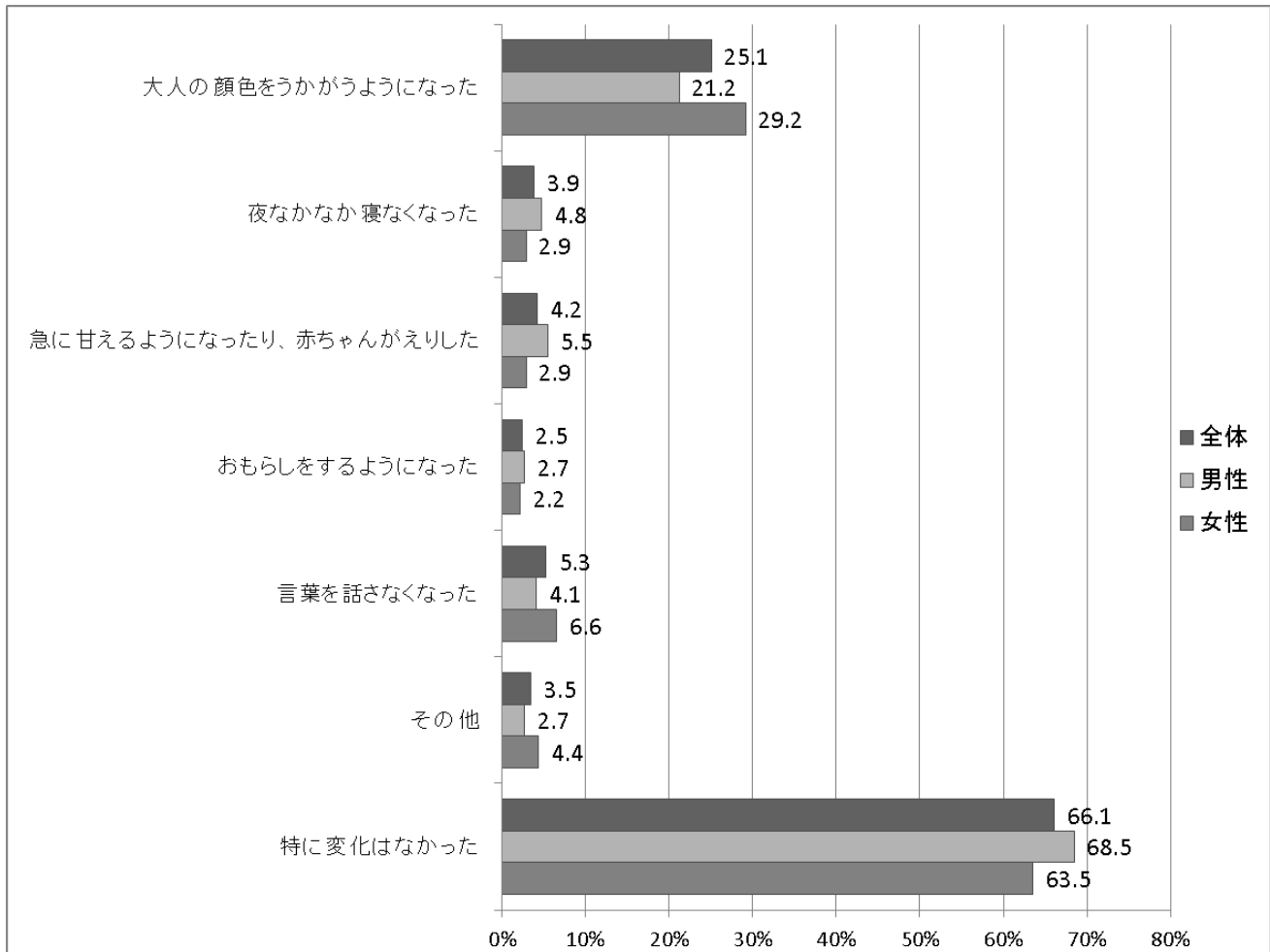
(「子どもはいない」を除外した場合)



### 【DV後の子どもの変化】

DVを見聞きした後の子どもの変化については、「特に変化はなかった」が66.1%（前回75.6%）と高いが、次に高いのが「親の顔色をうかがうようになった」が25.1%（前回16.5%）となっており、前回同様の順である。

（問）あなたがそのような行為を受けたあと、お子さんに何か変化はありましたか。（いくつでも）



### 【暴力が子どもに及んだか】

DVが発生したとき、子どもに対する暴力や虐待が「あった」は16.3%となっている。男女別では、女性が8.1ポイント認知度高い。

(問) あなたがそのような行為を受けたとき、お子さんに対しても暴力や虐待がありましたか。

